

# ある日のここすき！ 「そうだったのね」



## 事業団からのお知らせ



### ① 幼保小連携について

就学前教育と小学校教育との一層の円滑な接続を図るため、就学前施設（幼稚園、保育所、認定こども園等）におけるアプローチカリキュラム、小学校教育におけるスタートカリキュラムを作成し、実践していくことになりました。

国立市が東京都モデル事業地区に選ばれ、国立第四小学校と市立西保育園が、それぞれカリキュラムの作成に取り組んでいます。

2月8日には東京大学名誉教授汐見稔幸先生を講師にお招きして研修会を開催しました。



### ② 令和3年度 ここすき！通所事業参加者募集！！

通所事業ここすき！（7期、8期、9期）の参加者を募集します。詳しい内容は市報3月20日号、またはくにたち子どもの夢・未来事業団のホームページをご覧ください。ご応募お待ちしております。（申込受付4月1日～4月9日まで）

誰かに相談したい、悩みを聞いて欲しいと思った時は、お気軽にお電話ください。

中央児童館 ここすき！担当  
☎ 042-575-3224

# ここすき！通信 Kunitachi Kodomo no Yume Mirai

2020年度 第3号  
発行：社会福祉法人  
くにたち子どもの夢・未来事業団



「ここすき！通信」は  
くにたち子どもの夢・未来事業団からのお知らせやイベントなどを発信する情報紙です。



## 2021年4月矢川保育園新園開園！！

4月から運営主体が、くにたち子どもの夢・未来事業団に移行する公立矢川保育園に行き、佐伯園長先生にお話しを伺ってきました。



佐伯 恵美子 園長



仮園舎で過ごした7年間、不便な所もありましたが、運動会や夏まつりなどの行事で小学校をお借りしたり、4・5歳児は城山公園に毎週出向き、自然と触れ合ったりと新たなつながりや発見もありました。また、地域の皆さんにも声をかけていただいたり、商店街で買い物の体験等をさせてもらったりする中で“地域の中の保育園”を実感されていました。

新園では自然と触れ合い、思いっきり体を動かし、ワクワクするような体験ができるようにと職員も勉強会を開催して準備を進めています。また、新園でもより良い保育を・・・と願う多くの保護者の方々の意見も参考にし、作り上げてきたそうです。今後引越しの際には、できる限り子ども達と用品を運んだり、子ども達と共に新園開園に期待を膨らませているそうです。



## 地域の中の保育園 矢川商店街を紹介！

### 第2弾は 自家焙煎珈琲豆&カフェ☕

今回は矢川商店街、副会長さんのお店「レノンコーヒー」さんにお邪魔し、店主の赤坂さんにお話しを伺ってきました。



焙煎士 赤坂さん



店先のオープンテラス



コーヒーの香りが漂う店内 半日煮込んだパスタソースも人気



2004年に矢川駅近くに珈琲豆専門店をオープン。お客さんがどのようにコーヒーを飲んでいるのかが気になり、現在の場所に移転したのを機にカフェも併設しました。今では、団地の方がランチに来られたり、週末には遠方から若い方の来店もあるとのこと。手作りケーキも好評でクリスマスには多くのホールケーキの注文が入ります。コロナ禍の自粛生活の中、自宅で美味しいコーヒー豆を求められる方も増えたそう。少しでも気持ちが伝わればと、発送には手書きの手紙を添えています。お店の名前からわかるように、ビートルズが大好き。全国各地で自分のコーヒーが飲まれていることや、コーヒー、ビートルズ、と好きなものに囲まれ仕事が出来ていることに幸せを感じているそうです。

こちらも見てわん！



“やがわん”

## 商店街の取り組みも伺ってきました！



店主の赤坂さんは、商店街の活性化にも尽力されており昨年度は6000人が参加し、8回目となったサマーデイズナイトの企画運営をされています。ここまでの行事となるには苦労も多かったけれど、商店街の方々と一緒に、地域の児童館、保育園、大学とも協力し合い、多くの参加者に毎年楽しみにしてもらう行事となりました。普段から絵を描くのが好きで、商店街のキャラクター“やがわん”をデザインし、コミュニティーワゴンのあおやぎっこや、矢川駅の時計等も描いています。これらが集まる矢川商店街入口矢川駅付近は、店主の思いが詰まった場所、見る方が少しでも季節を感じながら商店街を活用していただけたら。と思いを熱く語っていました。